ISSN 1345-0379

KOTOBA NO UMI

ことばのうみ

宮城県図書館だより

MIYAGI PREFECTURAL LIBRARY No.42 2012.12

特集 子ども図書室へようこそ!

▼当館での子どもの本展示会の様子

写真①は5月に当館養賢堂において開催した「第43回子どもの本展示会」の様子です。

展示会終了後これらの本をセット分けして,希望する市町村図書館・公民館図書室などに貸出をしています。

写真②は大崎市図書館で,写真③は南三陸町図書館の展示の様子で,写真④は蔵王町立円田小学校でご利用いただいた際の様子です。

運命の出会いを求めて

生島 ヒロシ

子どもの頃、運動大好きな僕にとって静かな図書館は、息苦しく、呼吸さえしてはいけないと感じられる場所でした。本を読むのも好きではなく、映像世界に惹かれていました。

けれども上京して一人になると、五木寛之氏の『青年は荒野を目指す』に夢中になり、その影響を受けて単身渡米すると、日本語に飢えて、宮本武蔵や、司馬遼太郎氏の『坂の上の雲』は何度も読み返しました。皮肉なことに、日本にいるときよりも、留学時代の方が、日本の本をたくさん読んだのです。

アナウンサーになると、自分の知らないこと、足りない知識を補おうと、さらに本を読むようになりました。今もラジオパーソナリティとして、新しい知識や情報を得るのに本は欠かせません。一つ知識が増えると、また一つ、人生が豊かになり、青年時代に読んだ本は、今も自分に影響を与えているとひしひしと感じます。

人生にはいろんなことがありますが、影響を受けた本を片手に、生き抜いていきたいです。

いつ本に出会っても、遅くはないと思います。運命の出会いを求めて、図書館に足を運んでみてはいかがでしょうか。